

大銀経済経営研究所と大分大学は、大分県内市町村別の世帯数将来推計をまとめました。

# 『超高齢社会』が到来

## 30年までの世帯数推計

大銀経済経営研究所と大分大学は、県内市町村別の世帯数将来推計をまとめた。2030年までの20年間で、大分市は3%増加するのに対し、他の17市町村は4~30%の幅で軒並み減少する結果となつた。世帯主が85歳以上の世帯は全市町村で増える見通し。人口の4割を占める大分市と他市町村との間で格差が広がり、「超高齢社会」が到来することを示している。

世帯数推計は国立社会保障・人口問題研究所が国勢調査の結果を踏まえて都道府県別に公表しているが、市町村別の推計は県内では初めて。世帯数推計は県内では、市町村別では、世帯主が65歳以上の世帯は県全体を上回る2万2048世帯増。その他、11市町村では減少する。大分市は県全体を上回る2万2048世帯増。その他の市町村では減少する。

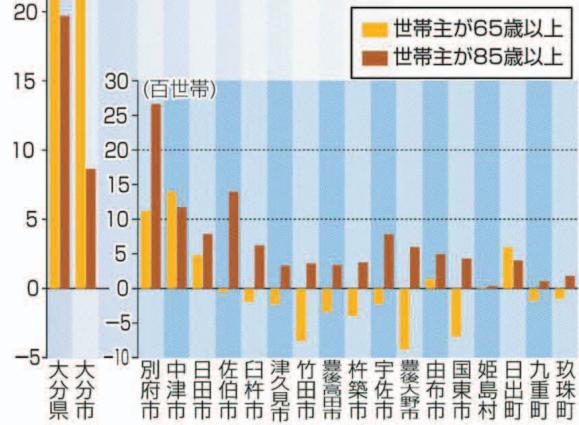
一方、大分市は約6千世帯増えて20万1千世帯になる。世帯主が65歳以上の世帯は10年の48万世帯から減り続け30年には44万3千世帯になる。減少幅は別府市、中津市、日出町以外は全て10%以上。姫島村(32・9%減)と竹田市(32・5%減)が際立っている。

85歳以上に限ると世帯数は県全体で10年の1万8千世帯から3万8千世帯へと倍増する。このうち1人暮らし世帯は、全体の何%でしょう。

①県全体の世帯数は、2030年は、2010年の何%減となるでしょう。

### 高齢者世帯数の増減 (2010~30年)

※大銀経済経営研究所と大分大学の共同研究による将来推計



大銀経済経営研究所は「増らしあは約半分の1万7千世帯、夫婦のみの世帯は約1万世帯で、いずれも倍増。施設入居者も2万1千人と1.8倍に増える見込み。」

え続ける85歳以上の世帯を地域で支えていく体制づくりが重要」とする。大分大学経済学部の下田憲雄教授は「大分市も長期的には人口、世帯数とも減っていくことが予想される。県内全域で在宅ケアを充実させていくため、市町村や医療機関などの連携が求められる」としている。

(2014年4月23日朝刊5面)

## 格差さら拡大

大分市3%増 17市町村4~30%減

②2030年の85歳以上の1人暮らし世帯は、全体の何%でしょう。

③記事中の数字を使った計算問題を考えよう。